

沖縄県・がん患者さんのための療養場所ガイド6 本島北部編 掲載エリアマップ



はじめに

本書は、主に沖縄県北部医療圏（国頭村・大宜味村・東村・今帰仁村・本部町・名護市）にお住まいの方々のために、琉球大学医学部附属病院がんセンターが、関係者の協力を得て作成しました。

どなたでも、がんと告げられたときに、頭が真っ白になるような大きな衝撃を受けて、動揺するのは当然のことです。どこで診てもらったらよいのだろう、すぐに（沖縄）本島中南部の病院や、東京の大きな病院に行かなくては、とってしまうかもしれません。

しかし、がん医療は大病院だけで行っているものではありません。多くのがん医療は、北部地区医師会病院（以下、医師会病院）や沖縄県立北部病院（以下、北部病院）で行えますし、みなさんの地元の医療機関で行えることもかなりあります。さらに、医師会病院、北部病院および中南部の医療機関と地元の医療機関が連携することによって、より多くのがん医療を北部医療圏（国頭村・大宜味村・東村・今帰仁村・本部町・名護市）にお住まいのがん患者さんに提供できるようになっています。

そこで北部医療圏（国頭村・大宜味村・東村・今帰仁村・本部町・名護市）にお住まいの方々に、

- (1) 北部医療圏（国頭村・大宜味村・東村・今帰仁村・本部町・名護市）のがん医療の現状についての正確な情報
- (2) お住まいの地域で、安心して質の高いがん医療が受けられることをお伝えすることを目指して、本書を刊行しました。

2011年に北部医療圏で新たに診断されたがん（上皮内がんを含む）は475例（男性249例、女性226例）でした*。このことから、北部医療圏では毎年400名以上の方ががんと診断されていると推定されます。一生のうちに、2人に1人は何らかのがんにかかるといわれるほど、がんはすべての人にとって身近な病気です。

本書が、北部医療圏（国頭村・大宜味村・東村・今帰仁村・本部町・名護市）にお住まいのがん患者さんやそのご家族に少しでもお役に立てれば幸いです。

*平成27年度沖縄県がん登録事業報告書